

- ・ 暗黙型変換の方向
- ・ Where 条件で、インデックスが使われない構文（悪い記述例）

- ・ 暗黙型変換の方向

Where 条件の左辺と右辺の比較データの型が異なる場合は、暗黙の型変換が行われ文字型の方を数値型に変更する操作が行われる（『文字列方⇒数値型』）

Where 条件での記述式

列名 [数値型] = 文字型変数 もしくは、文字列
↑
こちらを型変換して、数値型にする

列名 [文字型] = 数値変数 もしくは、固定数値
↑
こちらを型変換して、数値型にする

※ 型変換が行われたため、この列に定義されているインデックスが使用できなくなってしまう

列名 [数値型] = 列名 [文字型]

この場合は、型の不一致でエラーが発生する

※ 列名の記述が、比較式の右辺 or 左辺でも無関係にこの型変換の優先方向は行われる

- ・ Where 条件で、インデックスが使われない構文（悪い記述例）